

都市生活化の進む昨今の暮らしの中で、現代人の感覚器としての身体は気づかぬうちに鈍化しています。季節のうつろいや風・水の機微を感じ、自然に親しんできた琵琶湖の周辺に暮らす人びとも例外ではありません。本プログラムは「美の滋賀」の源泉ともいべき身近な「水」をテーマに身(からだ)と湖(環境)の境界を探求し、それらの関係を舞踊によって結びなおす新たな試みです。

# 身・水・湖

みみみ  
みみみ  
みみみ

## 琵琶湖を身体で感じるワークショップ

### ゆるぐ境界

ジャワ舞踊家の佐久間新による  
3回シリーズのワークショッププログラム

〔第1回〕2019年10月5日(土)

〔第2回〕2019年10月27日(日)

〔第3回〕2019年11月17日(日)

参加費：3回通し券 8,000円

3回通しの参加をオススメしますが、連続参加でなくても参加可能です。詳細は裏面をご覧ください。

〔主催〕 ながらの座・座(元・正蔵坊と古庭園を楽しみ守る会)

〔後援〕 滋賀県、滋賀県教育委員会、大津市、大津市教育委員会  
文化・経済フォーラム滋賀

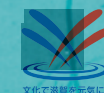
〔特別協賛〕 中山倉庫株式会社、滋賀石油株式会社

〔協賛〕 あさ・ひる・夕ごはん 豆藤

〔協力〕 NPO法人とんがるちから研究所、株式会社まっせ、  
滋賀大学 環境総合研究センター

令和元年度

滋賀県「美の滋賀」プロジェクト推進事業



文化で滋賀を元気に!

# ZaZa

<http://nagara-zaza.net/>



無色透明で、容れ物次第で自在に形を変える「水」。

とても身近でありながら、どこか捉えどころのない不思議な存在です。私たち人間をはじめ、生き物の身体に入ったり出たりしながら、川を流れ、湖に注ぎ、雲となって、雨として再び山や川に降り注ぎ、身体と環境を媒介しています。

本プログラムは、様々な「水」を手がかりにまずは自らの身体と向き合い、参加者それぞれが環境との関係を結びなおす実験的取り組みです。

何事も白黒はっきりさせようとする現代社会。しかし、境界の曖昧性こそが多様で豊かな社会や文化を育んできました。身・水・湖——身体と環境のゆらぐ境界を楽しみながら、自らの身体を起点に環境に働きかける術を、舞踊を通して考えたいと思います。

ながらの座・座 <http://nagara-zaza.net/>

[第1回(10月5日)・第3回(11月17日) ワークショップ会場]

「ながらの座・座」とは、登録有形文化財「橋本家住宅(旧・正蔵坊)」とその庭園を総称したものです。歴史ある環境が次々と壊されていく時代にあって、古い日本建築の持つ柔らかな空間や自然のホールともいえる古庭園を「生き物」として慈しみ、ここから実現できるクオリティの高い様々なパフォーマンス、実験的な試みなどを積極的に取り上げることがコンセプトに、愉しみながら文化財を保存・維持することを目指しています。

**プログラム program** プログラムの内容は変更になる場合があります。

ジャワ舞踊家の佐久間新による3回シリーズのワークショッププログラムです。水や湖を感じながら身体を動かし、第3回にはダンスや音楽を創作し、発表します。

### [第1回] 水を感じるボディーワーク

2019年10月5日(土) 定員20名

14:00~17:00頃 @ながらの座・座

小さな水を感じます。座・座の庭にある池の水、ペットボトルの中の水、自分の体内の水。じっくり観察したり、音を聞いたりしながら、水を感じて動いてみます。身近で小さなダンスのヒントを探します。

### [第2回] 湖を感じるダンスピクニック

2019年10月27日(日) 定員20名

9:30~17:00頃(近江八幡駅集合・解散)

@琵琶湖岸・西の湖周辺など(貸切バスで移動)

水辺へピクニックに出かけます。大きな水の流れや地形を感じて、実際に水辺で体を動かしてみます。水を通して、自分の身体と湖のつながりを意識します。環境と呼应するダンスのヒントを探します。

### [第3回] 小さな水と大きな水のパフォーマンス

2019年11月17日(日)

10:00~16:00頃 @ながらの座・座

(参加対象:第1回または第2回に参加された方)

《第I部/クリエイション》水をヒントにダンスや音楽を創作します。決まった振り付けのダンスにこだわらず、池畔にじっと佇んだり、水の音を楽しんだりするような幅広い表現の創作にチャレンジします。

《第II部/水のダンス》今回のプロジェクトで着想を得たダンスと音楽の公演を、佐久間新と鈴木潤が行います。また、第I部で創作したパフォーマンスの発表も行います。

3回通しでのご参加をオススメしますが、各回ごとの参加も可能です。ただし、第3回のみ参加はできません。また、第3回は第I・II部通しでの参加が条件です。

【一般観覧プログラム】ワークショップは参加せず、第3回第II部「水のダンス」観覧のみをご希望の方は、別途申し込みを受け付けます。詳細は、ながらの座・座ウェブサイト。参加費:一般3,000円、学生1,500円(18歳以下・先着若干枚予定)

**参加費 entry fee** 3回通し券 8,000円

第1回 2,500円/第2回 4,500円/第3回 2,500円

いずれもワークショップ参加費および保険代、第2回は近江八幡駅からの移動費と昼食代、第3回は佐久間新パフォーマンス観覧料を含み、3回通し券はそれら全てを含みます。参加費は当日受付で徴収します。3回通し券の代金は第1回受付時にお支払いください。一度申し受けた代金は、主催者の都合による中止の場合を除き、返金はできませんのでご了承ください。

**申し込み・問い合わせ application & contact**

ウェブサイトの申込フォーム(<http://nagara-zaza.net/contact/>)またはFAX(077-522-2926)にて住所、氏名、連絡先(携帯番号・メールアドレス)、ご希望の参加回を添えて、お申し込みください(申込先着順/定員になり次第終了)。



ながらの座・座 事務局 滋賀県大津市小関町3-1 アクセス➡  
Tel/Fax 077-522-2926 Mobile 090-8576-7999(橋本)

**アーティスト プロフィール artists profile**

#### 第1・2・3回ワークショップファシリテーター

**佐久間新** ジャワ舞踊家。1968年大阪生まれ。20歳頃、流れる水のように舞うジャワの舞踊家ベン・スハルト氏に出会い、自分のご先祖さまに会ったと直感。その後、インドネシア芸術大学への留学を経て、現在は伝統舞踊におけるからだのありようを探求する中から様々なプロジェクトを推進。からだへの問いかけとそこから生まれる言葉で話す「からだトーク」(大阪大学)、障害のある人と新しいダンスを創る「ひるのダンス」(たんぼの家・奈良)、マイノリティの人とのダンス映像制作(CROSSROAD ARTS・オーストラリア)等。共著に「ソーシャルアート 障害のある人とアートで社会を変える」(学芸出版社)。



#### 第3回ゲストミュージシャン

**鈴木潤** 鍵盤プレイヤー。作曲家。国内外アーティストのレコーディングやライブ等で活躍後、ソロ活動を開始。日本家屋に合う小さな音の楽器ユニット「カネタタキ」、ストーリー音楽(絵本と即興演奏「おはなしピアノ」)や人形劇の劇伴作曲など幅広く活動。演奏活動と並行して2000年頃から、完全放置型の即興創作音楽ワークショップ「音の砂場」を幼稚園、障害者施設、老人ホームなどで続けている。www.suzukijun.com

